



作成日 2016/06/09
改訂日 2019/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	カテコール
製品コード	FI-B11-0017
供給者の会社名称	宇部興産株式会社
住所	105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
担当部門	ナイロン・ファイン事業部 ファインケミカル営業部
電話番号	03-5419-6175
FAX番号	03-5419-6255

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体 区分外
健康有害性	急性毒性（経口） 区分3 急性毒性（経皮） 区分3 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分4 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分外 生殖毒性 区分外
環境有害性	水生環境有害性（急性） 区分外 水生環境有害性（長期間） 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H311 皮膚に接触すると有毒
H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H332 吸入すると有害
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

注意書き 予防策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
(P261)

対応

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

廃棄

内容物/容器を国・地域のすべての法規に従い廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質
 化学名又は一般名 カテコール(Catechol)

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
カテコール	99.0%以上	C ₆ H ₆ O ₂	(3)-543	公表	120-80-9

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） カテコール（法令指定番号：128）

毒物及び劇物取締法 劇物（指定令第2条） ピロカテコール及びこれを含有する製剤

化学物質排出把握管理促進法（PRT法） 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ピロカテコール（法令指定番号：343）

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合 水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧、粉末、二酸化炭素、耐アルコール泡消火剤

特有の消火方法 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。着火直後の場合は、多量の水で消火する。周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能なときは、散水して容器を冷却する。

消火を行う者の保護 風上から消火する。空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。二次災害を起こさないように消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項 防水シート等で覆い、飛散拡大防止を図り、容器に回収する。溶液の場合、大量の流出は、土砂等で流出拡大防止を図り回収する。少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気良好な環境のもとで、直接皮膚や目に触れないように保護手袋、保護眼鏡等を着用して取り扱う。粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。液体カテコールを取り扱う場合は、防塵機能付き防毒マスク等適切な保護具を着用する。『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

局所排気内で取扱う。
液体カテコールを取り扱う場合は、輸送配管及び高温機器に触れ火傷の恐れがある為、保護手袋等を着用すること。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
直射日光、外気、湿気を避けた密閉容器に入れ、換気良好な屋内冷暗所に保管する。
酸化剤から離して保管する。
モルトン：しっかりと密閉されたコンテナに窒素雰囲気下で貯蔵し、酸素、水分との接触を避ける。

安全な容器包装材料

クラフト紙袋、ポリ袋、フレキシブルコンテナ
モルトン：貯蔵タンク等設備材質は、ステンレス鋼（SUS316又はSUS316L）を用いる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
カテコール	未設定	未設定	TWA 5ppm (Skin)

設備対策

取扱いは出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗顔、洗身場の設備を設け設置場所を明示する。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク等。
液体カテコールを取り扱う場合は防塵機能付き防毒マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

保護服、不浸透性保護前掛等を常備する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

形状

固体（フレーク）

色

白色

臭い

特徴的な臭い

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

105 °C

沸点、初留点及び沸騰範囲

245.5 °C (1013 hPa)

引火点

127 °C (closed cup)

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

0.05 hPa (25 °C)

蒸気密度

3.8 (空気=1)

比重(密度)

1.3

溶解度

水：235-584 g/L (20-25 °C)
エタノール、エーテル、クロロホルム、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素に易溶

n-オクタノール/水分配係数

log Pow=0.88

自然発火温度

510 °C

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

その他

形状：液体（モルトン）、色：淡黄色～褐色
 爆発性：Rhodia社の試験で爆発性なし。
 酸化性：Rhodia社の試験で酸化性なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし
 化学的安定性 光、空気中にて変色する。高温多湿の場所では固化しやすい。昇華性あり。
 危険有害反応可能性 酸化性物質と反応しやすい。濃硫酸と混合すると、発熱的に反応し、発火することがある。ホウ酸と反応する。
 避けるべき条件 高温、多湿。
 混触危険物質 酸化性物質
 危険有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性
 経口 ラット LD50=300 mg/kg
 経皮 ラット LD50=600 mg/kg
 ウサギ LD50=800 mg/kg
 吸入 急性毒性：吸入（粉じん、ミスト）：ラット LD0：>2.8 mg/L
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギを用いた試験で、無傷皮膚に軽度から中等度の紅斑と軽度浮腫がみられたとの報告がある。
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ヒトで眼に対して刺激性が報告されている。
 皮膚感作性 類似物質が免疫学的試験（フロイント完全アジュバント試験）で陽性を示していることから、皮膚感作性があると判断した。
 生殖細胞変異原性 Ames test：陽性、in vitro 突然変異試験：陽性。
 体細胞in vivo変異原性試験（小核試験）：陽性と陰性の結果。EU分類に従い区分2とした。
 発がん性 ACGIH：A3、IARC：2B、EU：該当しない
 生殖毒性 ラット NOEL:160 mg/kg/day (OECD 422)

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性） 魚類（Oncorhynchus mykiss）96h-LC50=8.9 mg/L (OECD 203)
 魚類（Pimephales promelas）96h-LC50=9.2 mg/L (OECD 203)
 甲殻類（Daphnia magna）48h-EC50=4 mg/L
 藻類（Chlorella vulgaris）96h-EC50=22 mg/L (OECD 201)
 水生環境有害性（長期間） 急速分解性があり、かつ生体蓄積性が低いと推定されることより区分外と判定される。
 残留性・分解性 易分解性：14日間生分解性試験（OECD 301C）で、83～96 %分解
 生体蓄積性 LogPow=0.88から生体蓄積性は低いと推定される。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現品のままで海上、陸上を問わず廃棄してはならない。
 直接もしくは燃えやすい溶剤で溶解するか、又は混合してアフターバーナーとスクラバーを備えた焼却炉で燃やす。
 活性汚泥処理法か、処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に依頼する。
 汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
 海上規制情報 I M Oの規定に従う。
 UN No. 2811
 Proper Shipping Name TOXIC SOLID, ORGANIC, N. O. S. (CATECHOL)

Class	6.1
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	2811
Proper Shipping Name	TOXIC SOLID, ORGANIC, N.O.S. (CATECHOL)
Class	6.1
Packing Group	III
国内規制	
陸上規制	毒物劇物取締法および道路法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	2811
品名	その他の毒物 (有機物) (固体) (他の危険性を有しないもの) (カテコール)
国連分類	6.1
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	2811
品名	その他の毒物 (有機物) (固体) (他の危険性を有しないもの) (カテコール)
国連分類	6.1
等級	III
特別の安全対策	船舶による輸送においては「UN」マーク入りの容器で輸送する必要がある。包装容器を破損させないように注意し、直射日光や雨水に当たらない様に被覆シートをかけて輸送する。 その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質 (法第2条第5項)
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
毒物及び劇物取締法	劇物 (指定令第2条)
消防法	貯蔵等の届出を要する物質 (法第9条の3・危険物令第1条の10) 貯蔵等の届出を要する物質 (法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2-18・平元省令2号第2条)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中央環境審議会第9次答申)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	毒物類・毒物 (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・毒物類 (毒物) (法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	車両の通行の制限 (施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

特定有害廃棄物輸出入規制法（廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三
バーゼル法） 省告示1号）
化学物質排出把握管理促進法（第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
P R T R法）

16. その他の情報

連絡先

品質保証部 化学品品質保証グループ

電話番号：0836-31-3458

FAX番号：0836-31-3165

毒物劇物取締法による登録住所：

山口県宇部市大字小串1978-96

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り方を対象としたものですので、特別な見取り方をする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お見取り方をいたします。